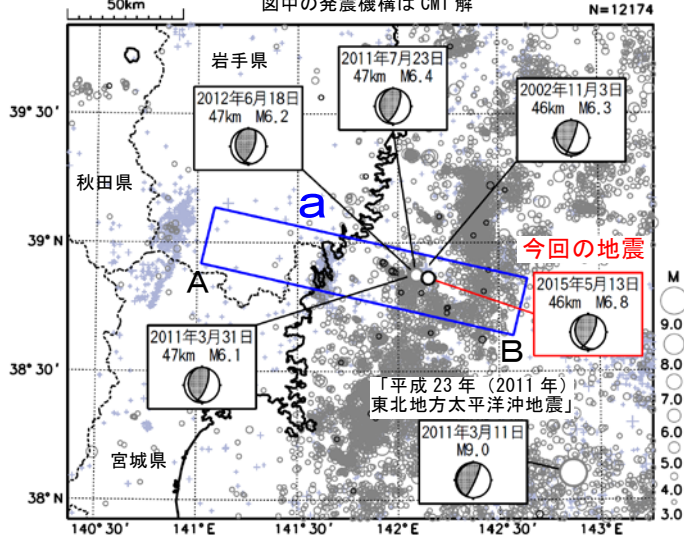


5月13日 宮城県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2015年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○
2015年5月の地震を濃い○で表示

図中の発震機構はCMT解
N=12174

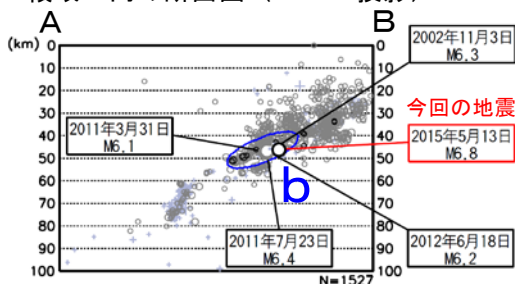


2015年5月13日06時12分に宮城県沖の深さ46kmでM6.8の地震 (最大震度5強) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により、岩手県で住家一部損壊2棟などの被害があった。

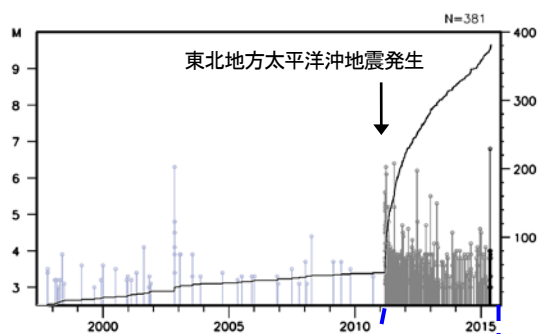
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、2002年11月3日にM6.3の地震 (最大震度5弱) が発生したほかは、M4.0前後の地震が時々発生する程度の活動状況であったが、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生後は地震活動が活発化し、M6.0以上の地震が5回発生している。

2023年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域c) では「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生以前からM7.0を超える地震が時々発生している。

領域a内の断面図 (A-B投影)

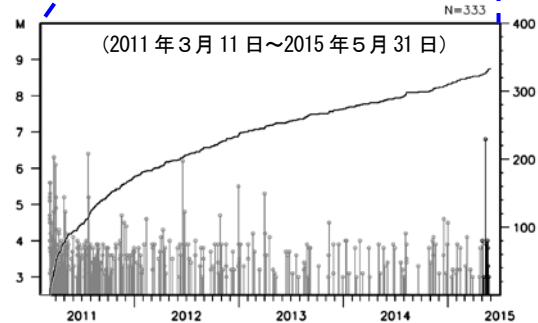
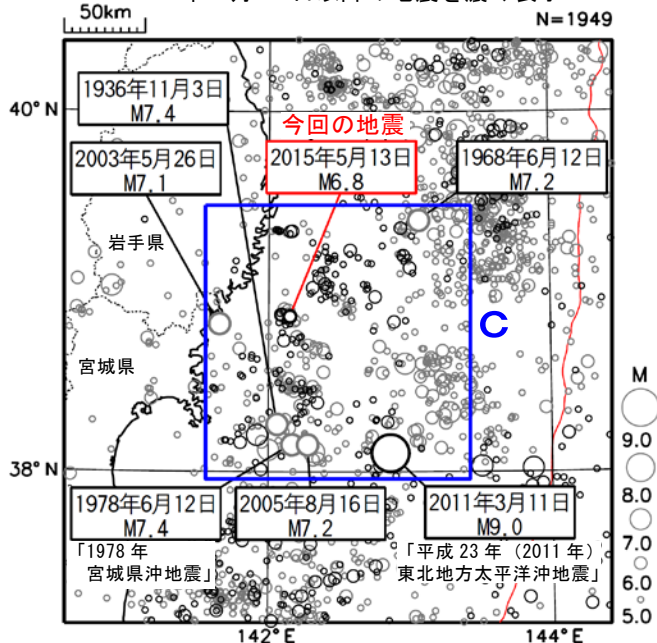


領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2015年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示



領域c内のM-T図

